

青森県	1,983	86,958	-9.2	-5.8
岩手県	2,348	285,849	-19.7	2.0
宮城県	2,899	368,194	-6.2	8.0
福島県	3,153	390,292	-9.9	-19.3
茨城県	2,598	149,447	-11.4	-16.7
5県計	12,981	1,280,742	-11.3	-6.9
5県以外	46,912	3,037,699	-6.7	2.5
総計	59,893	4,318,442	-7.7	-0.5

東北で微減となったものの関東と甲信越で2桁の増加となった。北陸では福井で増加したが石川などで減少、石川は発注者別区分でその他となる工事がマイナス10億円だった。甲信越は山梨、長野など全県で増加した。山梨は独立行政法人等でプラス20億円、市町村でプラス12億円となった。長野は独法等でプラス40億円となり、全体を押し上げた。

建築が2件(4件減)、物資調達に依拠的に的確に

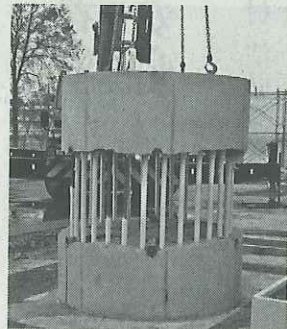
戸田建設と精研

法編

凍結杭頭処理工法

水の凍結圧力を利用

戸田建設(中央区)と精研(大阪市中央区)は、水が氷になるときの体積膨張(凍結圧力)を利用した「凍結杭頭処理工法」を開発した。写真。現場造成杭の施工に残る杭

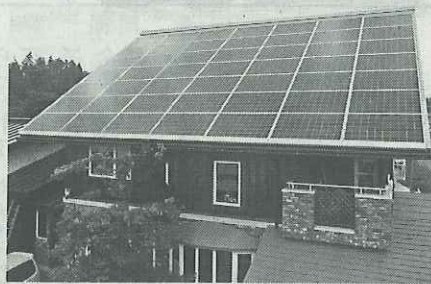


上部の余盛コンクリートを、騒音や粉塵を伴わずに短時間で処理し、コストも抑えるという。

従来はハンドブレイカーによる解体やセメント系固化材などの凝固膨張による「静的破碎」が主だったが、杭1本の処理に1日ばかり、杭本体にひび割れが起きるケースもあった。

新たな工法は現場造成杭の鉄筋かごに水平方向に通した水道管を液体窒素で凍らせ、10分程度で余盛コンクリートにひび割れを発生させることで杭本体と切り離す。その後解体片を揚重機で撤去する。

同社では同工法を杭頭処理解体の標準工法として都市部の作業所を中心に展開していく方針だ。



ソーラールーフⅡ

多結晶パネルに対応

カナメ

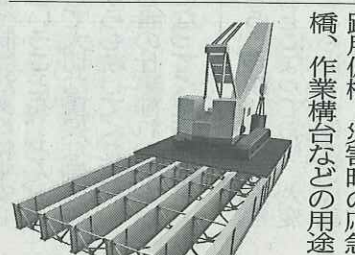
カナメ(宇都宮市)は、2012年度から発売している屋根一体型太陽電池「カナメソーラールーフ」に新たなパネルを採用、大幅なコストダウンを行い、「カナメソーラールーフⅡ」を写真として発売を開始した。

従来のカナメソーラールーフは、単結晶のパネルのみの対応だったが、架台構造の改良により、流通量の多い大型物件用多結晶パネルにも対応できるようにした。発電効率も落とすことなく、従来の基本性能のまま、コストダウンを

簡易組立 PABRIS-HG

200tクレーンで作業可能

ジェコス・横河工事業(中央区)と横河工事(豊島区)は、200tクローラークレーンが作業できる簡易組立橋梁「PABRIS(パブリス)ーHG」を写真を開発した。工事後仮橋、迂回(うかい)



路用仮橋、災害時の応急橋、作業構台などの用途を拡充し、適用範囲を広げることで、顧客のニーズに対応していきたいとしている。

同シリーズのラインナップを拡充し、適用範囲を広げることで、顧客のニーズに対応していきたいとしている。

問い合わせ先は 橋梁事業部 電話 0280(78)0311。

可能にした。また、屋根材とパネルの一体化で屋根工事が不要のため、施工がスムーズだったが、今回大型用のパネルを組み込み、1枚当たりのサイズも30%大きくなり、さらにスピー

ディーな施工が可能となった。積雪地域ではフットな意匠で雪がたまらず、雪落ちや雪解けが良いという。問い合わせ先はマーケティング課 電話028(660)3831。

として利用できる。吊り上げ荷重200tのクローラークレーンを搭載して作業することが可能で、仮橋スパンは最大22mまで適用できる。従来のPABRISシリーズでは、荷重150t、1スパン20mまでの制限があった。スパンが長くなることで、河川工事の河積阻害率が低減して安全性が向上するとい

■「建築夜楽校2015」15年の都市建築状況を問う 10月2、8日 / 日本建築学会

10月2日に開催する第1夜では「日本のコンペティションは、このままでよいのか?」をテーマに、国民的な議論に発展した新国立競技場の議論を踏まえつつ、日本のコンペティションが歴史的に抱えてきた問題に切り込み議論する。日建建築設計事務所代表の日建直彦氏らが講演する。また、10月8日の第2夜では「地方創生まちづくり、空間と経済」を題材に、震災復興や地方都市の中心市街地再生など、人口減少社会の具体的な都市づくりの在り方について考える。会場は建築会館ホール(港区)。定員は先着300人で参加費無料。問い合わせ先は事務局事業グループ 電話03(3456)2056。

■SCテナントリーディングセミナー 10月7日 / 日本ショッピングセンター協会

「リーディングの環境変化と対応策」リーディングに必要知識・スキル「テナント発掘のためにすべき手法」留意すべき出店条件「再生型リニューアルの取組み方」などを講義する。住商アーバン開発企画開発部の大下晃宏氏らが講師を務める。会場は同協会の会議室(中央区)。受講料は2万7000円(非会員は3万7800円)。問い合わせ先は教育研修部 電話03(3533)8121。

■オートデスク ユニバーシティ ジャパン 2015 10月9日 / オートデスク

建築、土木、CG・映像制作など各分野の最新技術や動向を紹介するユーザー向けイベント。生産性の向上や建築の未来などに関する基調講演を行うほか、同社の最新ソリューションやユーザー事業を紹介する。また、製造、土木・建築、イノ

欧の住宅市場といて、UR都市也氏が「東京都ぞれ基調講演」東煥氏ら5人のおける東京から手線主要駅まで与える影響」なる。会場はすま時に開催する。海大学不動産学

■不動産学シ 東京の都市 11月2日 / 住宅金融支援 修氏らが講師を (中央区)。受 1万6200円 電話03(355) 積極的に地域 ピングセンター くりの手法を探 修氏らが講師を (中央区)。受 1万6200円 電話03(355) 積極的に地域 ピングセンター くりの手法を探 修氏らが講師を (中央区)。受 1万6200円 電話03(355)

入地元住民が勉強会を立ち上げ。産・官・学。

ゲスト向けラウンジ

事業に参画 施工を担当した。

科の伊藤元重整するほか、日本哲氏らがICT明治記念館(港